

第124回スポーツサイエンス研究会

グローバルCOEプログラム「アクティブ・ライフを創出するスポーツ科学」

日時 2013年6月10日(月) 12:10より

場所 早稲田大学 所沢キャンパス 100号館5F 第一会議室

演題 レスベラトロールの抗肥満・糖尿病効果

東田 一彦 先生
(早稲田大学スポーツ科学学術院 助手)

近年、ポリフェノール的一种であるレスベラトロールの抗肥満・抗糖尿病効果や寿命延長作用に関する報告が増加しており、今やレスベラトロールは薬局でも気軽に買えるサプリメントとなっている。その作用機序として、レスベラトロールが長寿遺伝子Sirt1を活性化することで様々な代謝適応を引き起こしていると考えられている。骨格筋ではレスベラトロールがSirt1を活性化・タンパク質の脱アセチル化を引き起こすことで、ミトコンドリアの代謝機能を亢進し、抗肥満・抗糖尿病効果を示すと考えられている。一方で、レスベラトロールとSirt1の抗肥満・抗糖尿病効果に関しては非常に多くの反証論文が発表されている。本研究会では、レスベラトロールとSirt1の機能について解説し、レスベラトロールが骨格筋のエネルギー代謝・ミトコンドリア機能調節に及ぼす影響に関する知見を紹介する。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・紙上敬太
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: k-kamijo@aoni.waseda.jp